



西河原公民館

〒201-0013 狛江市元和泉 2-35-1
TEL / 03-3480-3201
FAX / 03-3480-3203
E-mail nishikou@city.komae.lg.jp

中央公民館

〒201-8585 狛江市和泉本町 1-1-5
TEL / 03-3488-4411
FAX / 03-3480-3341
E-mail chukou@city.komae.lg.jp



子ども陶芸教室

7月23日「作陶」

8月16日「釉掛け・本焼き」

参加人数21人

講師：陶芸サークル狛江

参加者の声

●粘土で形を作るのが楽しかった。●いろんな形のを組み立てるのがむずかしかったけど、楽しかった。●自分で小物を作ったことがとくに楽しかった。●ろくろで湯のみを作るのが楽しかった。●どんなお皿を作るか考えるのが楽しかった。●自分の好きな物をたくさん作れて楽しかった。●小さい銅像を作ってみた。●(他にも花瓶、お皿、模型などの声あり)

学年を超えて交流、楽しくチャレンジしました！

夏休み子ども体験教室

開催
しました！



小学生将棋教室

7月26日・27日・28日

参加人数：18人

講師：高野秀行さん(日本将棋連盟六段)、他2人

参加者の声

●先生が強かった。●色々なことを知って、またやりたいと思った。●将棋が最初はむずかしいと思ったけど、やってみて楽しかった。●金将は守りだけかと思ったけど、つむのや攻撃にも使えて、金は色々なことに使えるから便利だと感じた。●次は畳の上で正座してやる将棋をしたい。ちょっと緊張するから駒の動かし方がよく分かりそう。●最初は何も知らなかったけど、将棋教室に来てものすごく上手くなったと感じた。

子ども紙漉き教室

8月9日 和紙漉き・紙漉きアート

参加人数：8人 講師：和紙工房こま

参加者の声

●ロープを使って絵をかくのがおもしろかった。●自分で考えたデザインを紙として実現できた。●「あ」とかの字も作ってみたい。●虹色(たくさんの色)のぼかしを作りたい。●またやりたい。●紙漉きで色々なものを作りたい。●紙を漉くときが重たくてびっくりした。

講師の声 ●絵のデザインがとても上手だった。

●子どもの発想がとてもステキだった。

●子どもたちと一緒に素敵な作品が作れて楽しかった。



電気と光のしくみを知ろう

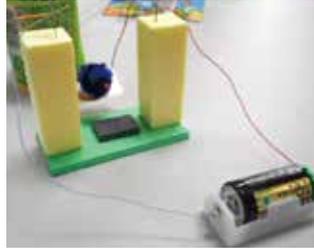
講師：吉光司さん(一般財団法人 電力中央研究所 狛江運営センター広報担当)

8月4日 実験「電気の色々しくみ！」・工作「電気ブランコ」

参加人数：12人

参加者の声

●電気の色々なしくみを知れて良かった。●色々なことを学べて楽しかった。●とーっても楽しかった！●電気のブランコや磁石のちょうちよを作れて楽しかった。●子どもが楽しそうに科学に触れられて良かった(保護者)。●普段、学校ではできないような実験をすることができて良かった。



8月18日 実験「光の色々しくみ！」・工作「釣り糸光ファイバー」 参加人数：7人

参加者の声

●虹のことや目のことがたくさん知れて良かった。●むずかしいところもあったけど、楽しかった。●色々な実験ができて楽しかった。●子どもにもできて、勉強にもなるので良かった(保護者)。●光ファイバーがとてもきれいだった。●子どもが楽しくできたことがうれしいです(保護者)。

子ども木工教室

8月26日 本立て・レターラック等の制作

参加人数：15人

講師：クラフトハウス狛江

参加者の声

●先生の豆知識がなるほどと思った。●木を丸くけずったり、切ったりするのが楽しかった。●時間が余ったら、2つ目を作れたことや、自分で好きな物を選んで作れたことが楽しかった。●スプレーとくぎ打ちが楽しかった。●ふだんは家でできないことができた。●ミニチュアハウスを作りたい。●昔みたいなゲームを作りたい。



子どもの広場

小学校2・3年生が対象で、学校・学年を超えた仲間づくりを目的にしています。

(参加者は、年度の初めに、広報で募集します。)



5月から3月の間に15回程度、工作・料理・軽い運動等の活動を行います。公民館で活動している団体や日頃ご協力いただいている方々に、講師になっていただくこともあります。

5月には「狛江市菊花会」の皆様にご案内をさせていただき、素敵な作品を仕上げ、6月には中本みどり先生を講師に、個性きらめく「マイうちわ」を作りました。

皆が少し顔なじみになった6月、宇多川清治先生に講師となっていたいただき、うどんを打ちました。国産銘柄小麦に塩水を混ぜてまとめた生地を丈夫な精米の袋に入れ、順番に踏んでいきました(写真)。麺棒で伸ばし、専用包丁で切って、パックに詰めた後は、職員が見本で打っておいたうどんをみんなで試食。先生の特製つゆも美味しく、あつという間に完食しました。自分たちで打ったうどんは、「茹で時間の目安」を付けてお土産に。保護者の方からも好評でした。

ボランティアの募集

西河原公民館では、毎月第1・3日曜日に障がいのある方を対象とした、チャレンジ青年学級を開催しており、毎回10人程度の学級生が参加し、運動・音楽・創作等の活動をしています。

また、1年の活動の中にキャンプ体験、雪国体験等の宿泊を伴う事業も行っています。

現在、チャレンジ青年学級のサポートをしていたくボランティアの方を募集しています。障がい者の支援に関心のある方やスキルをお持ちの方等、学級生と一緒に活動してみませんか？

【ボランティア募集】

1. 活動日…主に第1・3日曜日
2. 場 所…西河原公民館、他
3. 内 容…指導者や学級生のサポート
4. 募集方法…西河原公民館(03-3480-3201) < お電話ください
5. 資 格…必要なし
6. 問い合わせ…西河原公民館チャレンジ青年学級担当



グループ紹介

玉心書道会

女性だけで勉強しています

代表◆小笠原 幸子さん

—どんな活動をしているのですか。

40歳代から80歳代までの女性ばかり16人で、字の成り立ちの勉強や、色々な書体の練習をしています。

—作品の発表などもされているのですか。

いべんと西河原や、淡水会という書道展で作品展示をしています。

—お仲間に入れていただくには、どうしたらいいのですか。

第2・4水曜日(午前9時～12時)に西河原公民館の学習室で勉強しています。遠慮なく見学にきてください。お待ちしております。

水曜美術

絵心が育む絆と連帯感

代表◆熊澤 常子さん

—どんな活動をしているのですか。

絵が大好きな仲間が週に1回、中央公民館で学んでいます。絵を通して仲良くなれ、連帯感も深められます。

—お仲間は何人ですか。

40歳代から80歳代までの12人のグループです。2年に1度のグループ展が目標で、施設での展示もしています。

—お仲間に入れていただくには、どうしたらいいのですか。

基本的に水曜日の午前中に中央公民館で活動しています。練習の見学はいつでも歓迎します。ご自由にいらしてください。代表に連絡していただいても結構です。

わたしが **担当** です

8月1日付けで教育部公民館へ異動になりました川井と申します。

前職場の福祉保健部高齢障がい課には約7年間所属し、主に障がい者の方たちへの医療費の助成や手当の支給事務を担当していました。

幼少期より公民館という言葉は聞き慣れていましたが、いざ着任してみると、一つ一つが勉強で前職場とは全く異なることにとまどっている毎日です。

中央公民館



川井 哲也

なることにとまどっている毎日です。

まだ、直接担当している事業はなく、公民館に来館された方と窓口でしか接する機会がありませんが、利用者の方々の生き生きとした様子を伺うと公民館の役割の重要性を日々実感しています。

今後は、公民館の登録団体や公民館で実施している事業のさらなる情報発信・発展をさせていくとともに、より快適に利用していただけるよう公民館運営の充実、施設・設備の整備等に少しでも役立ちたいと考えています。

“こまえ市民大学”へどうぞ!

10月は西河原公民館の平日講座として、昨年に引き続き野川の「水と粕江の物語」を3回開催します。いずれも午後2時からです。講師は野川流域連絡会の宇都宮敬三さん。詳細は「広報こまえ」や市内の掲示板、HPでお知らせします。

(講座名はすべて予定です)

10月10日(火)	「野川を育む地形」 ★3万年のロマン★
10月24日(火)	「野川散策の勤どころ」 ★恋ヶ窪から二子玉川まで★
10月31日(火)	「野川遠望を求めて」 ★緑と水の楽園★
中央公民館で土曜に開催する講座は、10月7日「慈恵医大第三病院連携講座」、11月18日「電力中央研究所連携講座」などを予定しています。	

改修工事のお知らせ



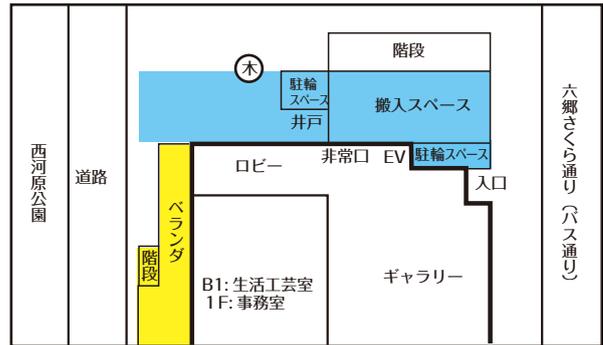
現在、「西河原公民館」及び「あいとぴあセンター」の改修工事を行っています。

改修工事期間：平成29年8月～平成30年12月(予定)

工事期間中は、騒音や振動等が発生します。また、足場・資材置場の設置や工事作業に伴い通行や自転車の駐輪等、施設の利用を一部制限することがあります。

ご不便をお掛けしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

通行・駐輪制限イメージ図



■ 資材置場のため、駐輪・通行できません。

■ 足場設置のため、通行できません。

公運審だよ

【公運審委員紹介】



学識経験委員として、高尾戸美(たかおひろみ)さんが就任されました。高尾さんは、帝

京科学大学学芸員養成課程講師、日本サイエンスコミュニケーション協会理事、合同会社マーブルワークシヨップ(<http://www.marblews.com/>)代表をされています。

北海道教育大学大学院教育学研究科修士。学部時代にインフォーマル・ラーニングの場としてのミュージアムに興味を持ち、札幌市豊平川さけ科学館のボランティア活動後、スタッフとして調査研究・飼育展示・教育プログラムの運営に携わりました。東京に拠点を移してからは、国立科学博物館の勤務、国内外のチルドレンズミュージアムの視察調査、全国の様々なミュージアムの展示設計に従事。ミュージアムと人の関わり方を捉えなおすため2011年にワークシヨップを通じて人々の学びの場の創出をめざしたマーブルワークシヨップを設立。2017年2月より多摩六都科学館の研究・交流グループリーダーとしてミュージアムの現場に復帰。大学講師として人材育成にも携わっています。

【研究集会に参加して】

8月24、25日に群馬県前橋市で開催された第39回全国公民館研究集会・第58回関東甲信越静公民館研究大会群馬大会に参加してまいりました。大会のテーマは、「おいでよ公民館―地域に根づいた、開かれた公民館をめざして―」です。

一日目は、オーブンングアトラクション、開会行事、文部科学省施策説明「人々の暮らしと社会の発展に貢献する持続可能な社会教育システムの構築」があり、次に、基調講演「生涯学習・社会教育・公民館―期待と現実と展望と―」が、鈴木真理さん(青山学院大学教育人間科学部教授)によって行われました。

二日目は、十カ所の会場で分科会が開催され、第八分科会「環境学習と公民館」に参加しました。静岡県藤枝市藤枝地区交流センターと群馬県高崎市倉淵公民館の活動事例が発表され、環境問題を公民館事業としてどのように取り上げ、展開すべきかを考えました。

(公運審委員長 斎藤謙一)

